



はじめに

子どもたちが、心豊かで明るく健やかに成長していくことは、私たちの共通の願いであります。しかしながら、近年、少子化や核家族化の進行、生活形態の多様化や地域でのつながりの希薄化など、子どもや家庭を取り巻く環境は大きく変化し、子育て中の親の孤立や育児不安、地域社会の子育て機能の低下など様々な問題が生じています。

このような中、国、地方公共団体及び企業が10年間の集中的・計画的な少子化対策への取組みを促進するための「次世代育成支援対策推進法」（平成15年7月）が制定されました。

那須塩原市においても、「那須塩原市次世代育成支援対策行動計画」（前期計画）を策定し施策を推進してまいりましたが、この度、前期計画の最終年度を迎え、計画の進捗状況を評価するとともに目標達成に向けた施策の見直しを行い、平成26年度までの5年間を計画期間とする後期計画を策定しました。

後期計画では、次代を担う子どもたちの笑顔のために、6つの基本目標を掲げ各種施策の総合的な推進を図ります。そして、子どもが健やかに成長でき、保護者が子育ての喜びを感じられるまちづくり、温かな眼差しで子どもと子育て家庭を見守り、支えることができる地域社会づくりを目指します。

今後も、市民・地域・企業や関係機関・団体など様々な担い手の方々と協働して、この計画の推進に努めてまいりますので、皆様方の一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、この計画の策定にあたり、アンケート調査やパブリックコメントで貴重なご意見・ご提言をいただいた皆様、市次世代育成支援対策協議会の委員の皆様、そしてご協力いただきましたすべての皆様に厚くお礼申し上げます。

平成 22 年 3 月

那須塩原市長 栗川 仁